

転倒災害を防止するための「見える化」①

粗大ゴミ置場での転倒事故



事故原因：粗大ゴミ（ゆりかご）を移動しようとしたところ、ゆりかごがロックされておらず、予想外に伸びたため足を引っ掛けて転倒。

負傷部位・内容：左足首骨折（休業149日）

対策：粗大ゴミの状態を十分に確認したうえで作業する。



転倒災害を防止するための「見える化」②

降雪時の転倒事故



事故原因：凍った雪の上のゴミを拾おうとして滑って転倒した際に手をついた。

負傷部位・内容：左手首骨折（休業33日）

対策：雪の上を歩かないようにする。



転倒災害を防止するための「見える化」③

物干し作業時の庭石つまずき転倒事故



事故原因：危険個所であるという認識が無く、物干し作業中に庭石に躓き転倒した。

負傷部位・内容：頭部打撲(休業12日)

対策：物干し場を安全な場所に変更した。



転倒災害を防止するための「見える化」④

ゴミ置場での転倒事故



事故原因：奥の方まで清掃するため、段差に足をかけて作業していたところバランスを崩し、すねを打って転倒した。

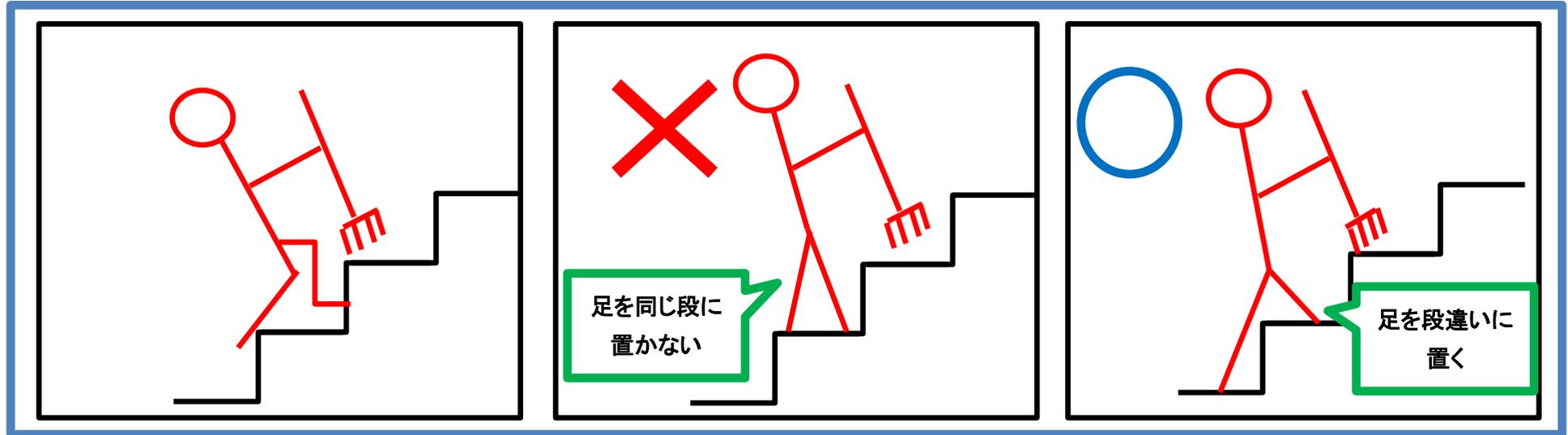
負傷部位・内容：左足すね打撲・裂傷(通院2日)

対策：両足を地面につけた状態で清掃できる範囲を清掃することとした。



転倒災害を防止するための「見える化」⑤

階段後ろ向き清掃作業での転倒事故



事故原因：階段で後ろ向き清掃中に足を滑らせ、階段を踏み外した際に体をモップで支えようとしたところ腰を捻った。

負傷部位・内容：左腰捻挫(腰部脊柱管狭窄症)(休業113日)

対策：足元の状況を確認しつつ、足を段違いに置いて作業する。

